

令和3年度全国基本調査記入の仕方

※調査の書式は全難言協のホームページにあります。そこからダウンロードして入力してください。回答は、全難言協のメールアドレスまで電子データとして返送してください。（電子データが難しい場合は、Faxで送付してください。）

◎令和3年5月1日現在で記入をお願いします。（難しい場合は、何日現在かをご記入ください。）

◎なお、本調査においては、

「難言学級」 → 設置に子どもの在籍を必要とする学級

「通級指導教室」 → 教員の配置に、子どもの在籍を必要としない教室
という定義をしています。

各調査項目について

1. 難言学級と難言通級指導教室について

(1) 設置校数

※前年度に比べて、減っている場合は一で校数を記入してください。

※難言通級指導教室として、1人担当の場合は、教員数は難聴の方に数字を入れてください。

(2) 令和3年度の難言学級の難言通級指導教室への移行・新設

※難言通級指導教室として、1人担当の場合は、教員数は難聴の方に数字を入れてください。

(3) 教員数と指導対象人数

※「認可」の対象は、各都道府県市町村教委が教員配置の算定を行う幼児・児童・生徒です。

・難言学級の場合は、在籍している人数と通級のための個別教育課程届を出す人数です。

・難言通級指導教室の場合は、個別教育課程届を出す人数です。

※「認可外」は、上記以外の幼児・児童・生徒です。

※難言通級指導教室として1人担当の場合は、教員数は難聴に入れてください。

1-2. 通級指導教室について（北海道・島根県はこちらに記入）

2. 全難言協への要望などについて

3. 「発達障害児」を対象とする通級指導教室との関係

※県によっては、発達障害を対象とした新設の通級指導教室と研究組織も1つにしていこうとする動きもありました。また、組織を1つにしたところ、大きくなりすぎたため、研究・研修は分科会として分けた方がいいのではないかという意見の組織もあります。そのような動きの中、発達障害を対象とした通級指導教室とどのような関係になっているか書いてください。

4. 貴県の研究組織名について

※特別支援教育の中で、各県の組織の動きを知るためにお聞きします。

例：難言というくくりがなくなり、「〇〇県特別支援教育研究協議会」の中の難言部になったなど。

5. 特別支援教育の中で生じている課題とその対応について

※それぞれの「課題」に対して、「対応」がリンクするように具体的に記入してください。

例：課題①「専門性の継承の難しさ」

13人に1人の担当者という制度改正に向けて、教室や担当者を増やそうとしている市があるが、新人への専門研修はなく、経験者が育てるという方法に頼っている。その経験者も次々退職する中で、人材育成ができなくなってきている。

①への対応：市教委へ専門研修を求めているが、発達障害と同様にしか扱ってもらえず、言語の専門研修の必要性すら分かってもらえない。まずは、市教委に指導を見に来ていただき、言語の教室について理解していただけるようお願いしているなど。

6. コロナ禍における学級運営や指導に関する工夫について

(昨年度からの追加項目)

※コロナ禍において、学級運営や指導に関して行っている工夫を、具体的に記入してください。

※注・・全国から回答が戻ってきます。県内の各教室の意見をそのまま送らず、県として一度集約してから送ってください。

◇◇調査についての問い合わせ先◇◇

東京都府中市立府中第一小学校 ことばの教室
我謝 佳奈美(全難言協 全国調査担当)
教室直通電話：070-1582-2483

◇◇調査送付先◇◇

◎9月1日(水)までに、全難言協ホームページのメールアドレスまで、電子データで送付をお願いします。(時間のない中で集約をします。電子データでの回答にご協力をお願いいたします。)

電子データのダウンロードは、「<http://www.zennangen.com>」より
返送先は、「zennangen@outlook.jp」に添付ファイルで送付。

※電子データでの送付が難しい場合は、Faxで下記までお願いします。地方によって返信先が異なるため、お間違えのないようご確認をお願いします。

【北海道・東北地方】

東京都板橋区立高島第六小学校 ことばの教室 権代 妙子宛

FAX：03-5399-7407(教室直通)

【関東地方】

東京都文京区立金富小学校 ことばときこえのの教室 伊勢 紗希子宛

FAX：03-3814-1699(教室直通)

【中部地方・近畿地方】

東京都世田谷区立砧小学校 ことばの教室 笠井 正隆宛

FAX：03-3417-4484(学校代表)

【四国地方・中国地方・九州地方】

東京都稲城市立向陽台小学校 きこえとことばの教室 浅田 華苗宛

FAX：042-378-6161

大変お忙しい中、本調査にご協力いただきましてありがとうございます。この結果につきましては、報告書として後ほどお送りいたします。